

議会だより

57号

2014年3月定例議会

題字：知花来杏（読谷小学校6年生）

議員一般質問（16名）…………… 8

たくましくそだて
“よみたんっ子”



主な事業内容



土曜日一日保育、延長保育

内容

保護者の就労実態や通勤時間等に応じた保育需要に対応する為に、土曜日一日保育と延長保育を実施する。

延長保育 18時から19時

土曜日一日保育 7時から18時

セーラ苑改修工事

内容

老人福祉センター利用者及び告別式参列者の夏場の強い日差しや冬場の寒さを伴う風雨から守るため、風雨対策及び植栽工事



予定地



児童館建設事業

内容

児童に健全な遊びをあたえ、その健康を増進し情緒を豊かにすることと、児童の安全な放課後の居場所の確保

平成26年度

琉球大学・読谷村 包括連携協定調印式



琉球大学と 包括連携協定を締結

内 容

琉球大学と相互に密接な連携協定を図り、地域社会の発展と人材育成及び学術振興に寄与する。

屋良朝苗像の建立事業

銅像費 126万円

(具体的な事業については期成会と調整)

内 容

復帰運動に尽力した初代県知事の屋良朝苗氏の像を建立する。



シルバー人材センター 設立に向けて

事業費 1,689,600円

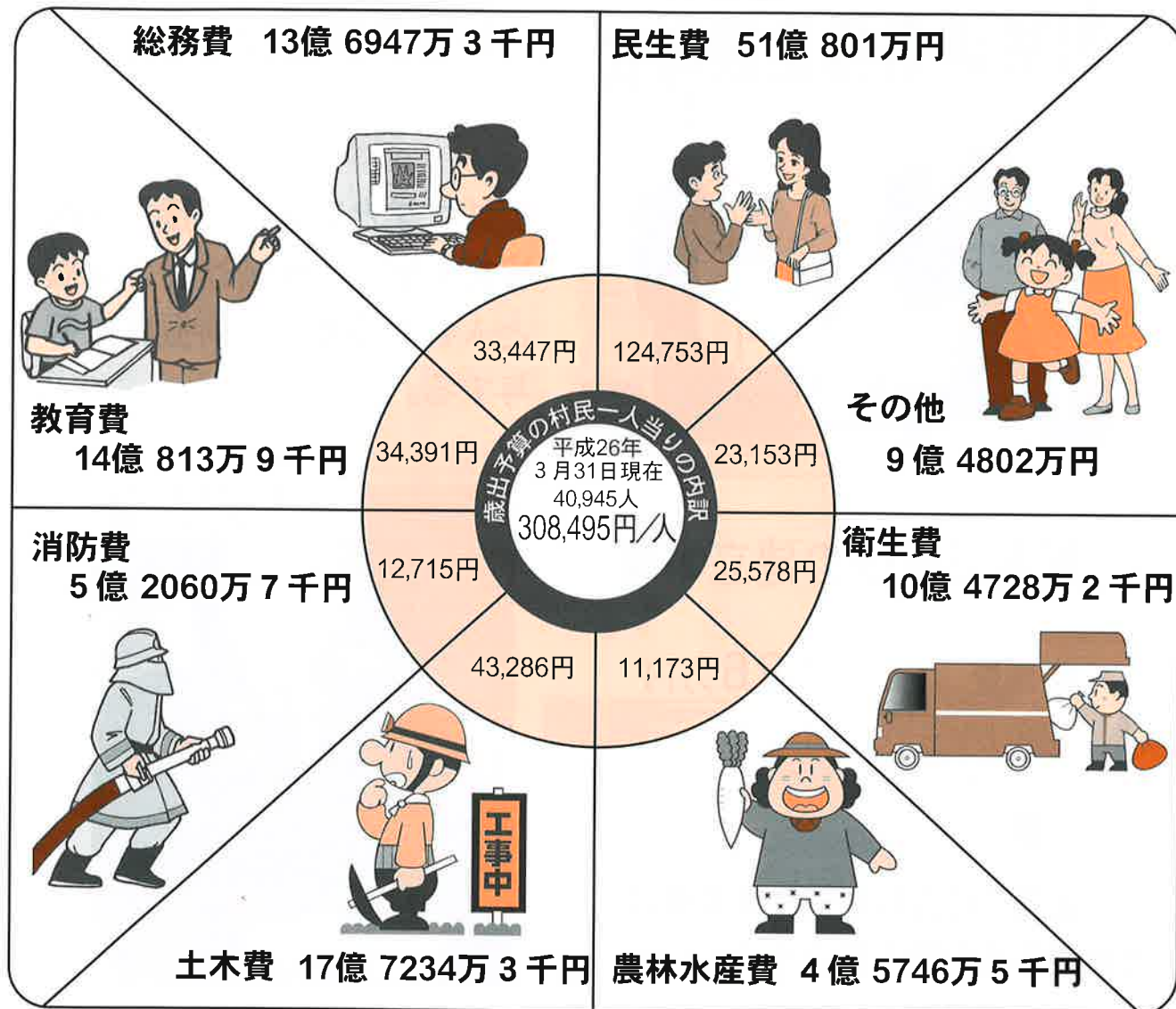
(設立に向けた事務費)

内 容

高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進を図り、高齢者が培ってきた能力を最大限にいかすための組織

平成26年度 一般会計予算 (歳出目的別の内訳)

予算額 126億 3133万 9千円



特別会計予算認定

平成26年度読谷村診療所特別会計予算 **2億 2,803万 8千円**

平成26年度読谷村国民健康保険特別会計予算 **59億 4,004万 4千円**

平成26年度読谷村後期高齢者医療特別会計予算 **3億 5,246万 5千円**

平成26年度読谷村下水道事業特別会計予算 **4億 4,754万円**

平成26年度読谷村水道事業会計予算 **11億 6,622万 6千円**

抗議決議・意見書

沖縄の未来に禍根を残す仲井眞県知事の辺野古埋め立て承認に抗議し、辺野古移設断念と基地負担軽減を求める意見書

第427回
可決

読谷村議会は県民の生命、財産、生活環境を守り、平和な社会の実現の立場から辺野古埋め立てを承認した仲井眞県知事に強く抗議するとともに、辺野古移設断念を含めたあらゆる基地負担軽減策を早急に実行するよう政府に要請するものである。

県立読谷高等学校への米軍車両の無断侵入に対する意見書

第428回
可決

読谷村議会は村民の生命・財産、平穏な生活、教育環境等を守る立場から県立読谷高等学校への米軍車両の無断侵入に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項について強く要請する。

1. 無断侵入の詳細を県民に公表するとともに学校当局に謝罪すること。
2. 米軍人の教育と綱紀粛正を真に徹底すること。
3. 実効性のある再発防止策を公表し、兵員に徹底すること。

宛て先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）、沖縄防衛局長、沖縄県知事、沖縄県議会議員

県立読谷高等学校への米軍車両の無断侵入に対する抗議決議

第428回
可決

読谷村議会は村民の生命・財産、平穏な生活、教育環境等を守る立場から県立読谷高等学校への米軍車両の無断侵入に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項について強く要求する。

1. 無断侵入の詳細を県民に公表するとともに学校当局に謝罪すること。
2. 米軍人の教育と綱紀粛正を真に徹底すること。
3. 実効性のある再発防止策を公表し、兵員に徹底すること。

宛て先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官、嘉手納基地第18航空団司令官

米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故に対する意見書

第430回
可決

読谷村議会は村民の生命、財産、安全と平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

1. F-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故の原因を究明し、再発防止策を公表すること。
2. F-15イーグル戦闘機部隊は米空軍嘉手納基地から撤退すること。

宛て先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）、沖縄防衛局長

米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故に対する抗議決議

第430回
可決

読谷村議会は村民の生命、財産、安全と平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

1. F-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故の原因を究明し、再発防止策を公表すること。
2. F-15イーグル戦闘機部隊は米空軍嘉手納基地から撤退すること。

宛て先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米四軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、嘉手納基地第18航空団司令官

平成26年 第427～430回 臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		氏名	知花徳栄	比嘉郁也	仲宗根盛良	伊波篤篤	當山勝吉	大城行治	當間良史	上地利枝子	山城正輝	城間勇	嘉手苧林春	津波古菊江	山内政徳	長浜宗則	照屋清秀	上地真栄	伊佐真武	國吉雅和	新垣修幸
第 430 回 定 例 議 会																					
読谷村社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村水道事業給水条例の一部を改正する条例	可		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大湾7号線の村道認定について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
座喜味19号線の村道認定について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷小学校（15号棟）・渡慶次小学校（13・18号棟）耐震補強工事請負契約について	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦（山内悦子氏）につき意見を求めることについて	適任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命（比嘉雄一氏）について	同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故に対する意見書	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機の風防（アクリル製）落下事故に対する抗議決議	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
平成24年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告について	報告	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。</p> <p>議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、「除」と表現しています。</p> </div>																			
専決処分の報告(車両事故による対物損害賠償)について	報告																				
専決処分の報告(車両事故による対物損害賠償)について	報告																				
旧小糸製作所跡の活用について（要請）	報告																				
これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	継続審査																				
子ども医療費を入院に続き、通院も中学校まで無料とすることを求める陳情	継続審査																				
大添地域交通環境改善に対する支援要請	継続審査																				
閉会中の継続調査申出について																					
総務常任委員会																					
・読谷村定員適正化計画に関する調査について																					
建設経済常任委員会																					
・読谷村の総合的な交通体系について																					



上地 榮

一 嘉手納基地以南の米軍施設の返還計画に伴い、トリイ基地への施設移転について問う

答 トリイ基地には、牧港

補給地区から倉庫施設と可燃物保管倉庫とキャンプズケランから通信整備工場が移設される。又、正門及び延長道路が新設される。兵員の数も、軍人・軍属及び基地従業員あわせて約六十名が異動する。村としては、移設により、廃止される耕作地が縮小されるよう、又、基地負担が軽減するよう強力に取り組む。

二 トリイ基地へ入る時、エスコートされる人の免許証取り上げについて改善できないか

答 運営に関しては、現在、医師一人、医療や介護の

四 診療所の運営状況、診療状況はどうなっているか

答 ミフクラギはオキナワ村内の公園やその他の公共施設には植栽されていない。赤犬子宮の隣の三本のミフクラギは楚辺区が管理をしている。今後、公共施設等児童が多く集まる広場において、伐採等を行っていく考えである。

三 ミフクラギ(毒)の村内における植栽状況とその対策は

答 在日米陸軍規則に則り、手続きをしている。基地内での免許証不携帯については地位協定第3条により運営している。しかし、他の基地で一時バスを発行し免許証の預かりはないので、引き続き、四者協で改善できるように要請していく。

タッフ、事務職員あわせて三十二名で運営している。しかし、今年一月四日から医師が確保出来ず一月十四日まで休診と云う事態に大変申し訳なくお詫びを致します。診療状況については、平成二十四年度で外来診療が約一万八千人、通所リハビリで約七千人で合計約二万五千人が医療サービスを受けている。新年度は医師二人体制を確立するとともに医療スタッフも充足し、村民の信頼回復に努める。



平成26年度は医師2人体制を確立し、医療の充実を図る。

五 施政方針の中に、シルバー人材センターの設置に向けて取り組みとあるが、具体的にはどう取り組むのか

答 シルバー人材センターについては、「生きがいづく」のための施策として位置づけ、福祉課老人福祉係に新たにシルバー人材センター設置事業を設け、担当職員を配置して取り組む。

六 読谷村地域振興センター(仮称)について問う

答 当該センターは、敷地面積一〇七五坪に延床面積一〇〇四坪の施設を建設する。全体事業費が八億八五九二万円、(内、一括交付金が七億八七三万六千円)で、建築工事は平成二十六年六月から平成二十七年一月まで約八ヶ月かかる。オープンが平成二十七年七月を予定している。ランニングコストは年間約一〇八八万円を見込んでいる。



仲宗根盛良

一 議会からの政策提起の結果について

問 議会報告会で村民から集約された議会の政策提起をどのように理解されているか。

答 村民の福祉の向上及び豊かな村づくりの実現に向けての提起として理解をしております、地域の声として反映できるのは対処をしていく努力と工夫を行っていく。

問 新年度予算で具体化されたものがいくつあるか。

答 各項目について調整中であり、新年度予算に反映されたものではありません。



議会報告会の風景

二 国保税などの還付加算金支払いの実態について伺いたい

答 住民税と国保税に還付加算金の未払いが発生し、住民税で百十七件の約四十四万円と国保税で二十六件の九万二〇〇円の還付手続中です。

三 読谷村地域振興センターについて

問 同施設内に読谷漁協の「イマイユ食事処」の計画はできないか。

答 一階サロン部分に海鮮料理も提供できる施設を計画している。

四 国の教育委員会制度改革について村長と教育長の意見は

答 村長 首長権限の強化で教育の政治的中立性の確保が危惧されており、今後の動向を注視していく。

答 教育長 現行の制度に課題があると思われることについては残念である。最高責任者を「教育長」に設定していることは賛成。ただ、「政治的中立性の確保」は教育行政の重要なポイントである。

五 屋良朝苗顕彰事業について

問 同事業は期成会から陳情を受け、採択されたから一年になる。その後、期成会からどのような提起があったか伺いたい。

答 当初、五つの事業計画の要請を受け、必要に応じ連携を取っています。

問 一括交付金の活用に関し、期成会とも連携する必要はないか。

答 顕彰モニユメントの建立については、沖縄県教職員組合から贈呈を受けた「復帰及び戦後教育史に関する資料」の公開事業とのセットで国へ申請している所であり、期成会との意見交換は今後も必要であります。

六 米軍牧港補給地区内の倉庫をトリー通信施設への移転計画について

問 これ以上の黙認耕作地の接収はあつてはならない。直ちに中止を求め総行動を起こすべきではないか。

答 楚辺、大木、渡具知の三区長と連携を取りあい、トリー基地内への機能強化がないように日米両政府へ求めて来た。今後も関係区長と連携し対応して参ります。



上地利枝子

健康増進センターについて

問 利用者の声として、シャワー室での石鹸、シャンプー使用等の要望はないですか。

答 現在のところ利用者からそのような御意見はございません。

問 肌にやさしいとされている中性電解除菌水、αトリノ水の導入についてはどのように考えていますか。

答 製造装置の設置場所、導入費用と装置保守点検費用の問題から現在のところ考えておりませんが、中性電解水の殺菌方法につきましては新しい技術として引き続き調査研究いたします。



プールで楽しく健康づくり

読谷村地域福祉計画の進捗状況について

問 福祉共同体の体制づくり活動展開への支援

答 平成二十四、二十五年度は大木区、長浜区、渡慶次区、大添区をモデル地区として、地域見守りや支え合い体制づくりの活動を展開しております。今後も身近な地域での福祉活動の展開をするため、自治会加入の有無にかかわらず、各公民館を中心に地域の関係者の協力のもと、活動展開に

向けて社会福祉協議会と連携し、支援をしていきたいと考えております。

問 コミュニティソーシャルワーカー（福祉を専門とする職員）の活動状況

答 地域住民への周知や地域の特性を把握することを目的に、各字ゆいまーる共生事業へ参加しております。

高齢者介護予防事業の観点から

問 本村の高齢化率は

答 平成二十六年一月末現在で17.2%です。

問 本村の介護予防事業の展開について

答 一次予防としまして、ゆいまーる共生事業や老人クラブ活動への支援、健康増進センターの介護予防講座との連携、認知症予防講座、口腔機能向上講演会、がんじゅー教室、ボランティア養成講座を開催し、介護予防の強化に努めてまい

子育て支援について

問 平成二十六年四月入園予定児決定時点での待機児童数

答 六十七名となっております。

問 平成二十六年年度認可を希望している保育園があると思いますが村としての対応は

答 現時点では、平成二十六年年度において認可保育園を増やす計画がないことから、認可保育園に対する認可化の意向調査は行っておりません。今後、「子ども、子育て支援事業計画」策定の中で検討、そして事業計画を沖縄県と協議し、認可化が必要であると判断した時は、村内の保育施設等と意見交換し、二十七年以降の認可化に向けて対応していきたいと思っております。



長濱 宗則

機児童は平成二十六年一月末で三七人で

問三 村立保育園の民活の考えは

答 具体的な検討はしたことはない、保育行政からさまざまな角度から慎重に検討すべきであり、民活導入も議論すべき一つとして考えている。

問二 運賃を一律一〇〇円にできないか

答 大人、高校生になるとバス会社との調整が必要になる。

◎読谷まつりから

問一 日程変更の理由は

答 この数年か雨にたたれてプログラムの変更、中止等々余儀なくされてきたので過去十五年の天候を調べた結果十月の末になった。



照屋 清秀

が考えられる。維持管理は指定管理予定。維持管理費は年一千万円余り見込む。

(c) ゴミの減量化は徹底した分別化を図るべきと思うが減量化の方策は

一 平成二十六年 施政方針より

答 ゴミの総量は平成二十一年度迄は減少。その後平成二十四年度まで増加しており徹底した分別化が重要。方策としてリフレット等の周知やゴミの搬入状況等住民に知らせ減量化に向け村民に協力をお願いしたい。

問一 読谷村の経済的支援事業は

答 「児童手当」「児童扶養手当」「特別児童扶養手当」「母子及び父子家庭等医療費助成」「子ども医療費助成」「養育医療給付制度」ですべてが一般財源から捻出する事業はなく補助である。

問四 古堅南地区児童館の開館予定と運営主体は

答 平成二十七年の早期を目指している、運営方法は二十六年中に決定するが、現時点では直営方式で運営したいと考えている。

問一 健康サポーター制度の成果と今後の取り組みと対策は

答 成果は受診率の伸びに現れています。行政地区が設定されましたのでサポーターの増員を図り自治会未加入者への受診拡大を図る。受診の気運を高めるため未受診者対策地域交付金の規定を見直していく。

問二 二十五年度の保育所の定員と未就学児の在宅保育の数、二十六年一月末の待機児童数は

答 定員は九施設で八一〇人未就学児童は、〇歳から五歳の児童約二八八〇人のうち、保育所、幼稚園への入所児童を差し引くと約八四〇人。待

◎鳳バスの運営から

問一 路線変更後の利用状況は

答 変更運行は平成二十五年七月開始で利用者数は前年度を下回る見込みである。

◎読谷村診療所の民活を導入する考えは

答 今回の医師交代があり、それをきっかけに方法論として役場内部で議論が始まったばかりで結論に至っていません。



今年は日程を変更し開催

問二 第四十回を迎える読谷まつり記念事業の内容は

答 通常開催の土日、加え金曜日を前夜祭とし、三日間で本村と関係、交流がある県外市町村の物産展を調整している。

(a) 子育て環境の向上を目指し児童館建設の早期着手とあるが、完成後の維持管理体制の基本的考え方は

答 児童館の開館は平成二十七年の早期目指す。維持管理は二十六年中に決定。現時点での基本的な考えは直営方式とする。

(b) 村民センター地区内に「農業を主体とした六次産業化」等図る為読谷村地域振興センター（仮称）建設に取り組みとあるが経済効果と維持管理は

答 単年度で多額の資金準備必要なく、財政負担の複式年度平準化の利点ある。今回のケースは今後のモデルになると考える。

答 観光客を本村観光施設群へ誘導等の効果で滞在時間や観光消費額増加を図る効果等新たな賑わいを創出する効果



宮城県利府町の子育て応援事業

二 宮城県利府町では子育て支援の中で経済的支援として小中学生入学時に運動着の支給を行っている。本村でも支給できないか。又本村の子育て支援の内容は

三 本村の自主防災会が何回か訓練等行い、訓練後の課題解決の為鋭意取り組んでいると思うが、自主防災組織の更なる育成強化と防災拠点施設の整備は

答 現在小中学校入学時の運動着支給考えてない。経済的理由による就学困難な児童生徒に新入学用品費、給食費、医療費等の援助行う等就学援助制度を実施している。

答 今年度都屋区と楚辺区が自主防災会設立。次年度以降も防災会の訓練支援し内陸側の防災会設立目指し各字と調整する。防災拠点は「防災センター」「危機管理センター」を核とし備蓄施設、避難施設等総称し役場が防災総合管理施設となる。



大城 行治

問 石嶺村長の二期目に向けての抱負と二期目の特色・目玉政策は

答 多くの村民の皆様からの付託を受け二期目の重責を担う事となり、これから「人口日本一の村」の冠を活用し、三六五日「年中夢求・知産地笑」で、歴史と伝統文化を大切にす村づくり邁進していく。様々な施設整備やスポーツコンベンション事業の更なる充実等、「創造・協働・感動」の村づくりを進め、日本一夢の持てる読谷村を目指し取り組んでいく。

問 読谷村の道路整備計画及び道路修繕計画について

答 道路整備プログラムとは、村内幹線道路の整備重要度や、村道について整備時期の目標を示すもの。平成二十五年に第三次を作成している。村道や生活道路については、各々年間、約五百万円の予算で維持修繕を行っている。

*村民からの生活道路の整備に関する要望は多い。厳しい財政状況ではあるが、要望には一つでも多く答えたい。

問 「読谷村地域振興センター」(仮称)について

答 敷地面積一〇七五坪。延べ面積一〇〇四坪で三階建。財源は、交付金七億八七三万円、村負担一億七七八万円。合計八億八五九二万円。

工事期間が、平成二十六年六月から平成二十七年一月。

オープンは平成二十七年七月を予定している。年間維持管理費は、一〇八八万円。指定管理者を公募して運営に当たってもらう。商工会、観光協会、JA等6団体とも入居に関して協議している。素通り観光客の誘導、情報発信機能、観光消費額の増加の効果等が考えられる。

問 シルバー人材センターについて

答 平成二十六年に担当者置く。作業スケジュールの調整はこれからである。今後も老人クラブ連合会との話し合いを継続していきたい。希望的観測としては平成二十六年度内に設立出来たらいいのかなと考えて

*シルバー人材センターは、収入のために働くというよりも、働くことによって生きがいを得る「生きがい就労」と考える。読谷村にもぜひ必要な施策である。設置に向けて頑張っていたきたい。



地域振興センター



伊波 篤

よみたんの日制定

について

問 四月三日を「よみたんの日」として制定してはどうか。さらにキャラクターに決まった「よみとん」からイメージできる一〇と合わせ四月三日と四月十日までを「読谷ウィーク」とし人口日本一の村をピーアールしてはどうか村長の所見を伺います。

にいいことだと思ひまして幅広く、いろいろなアピール効果、相乗効果が出てくると思ひつています。

村税の徴収対策の

強化について

答 ①現年度徴収分の徴収強化。電話及び文書による早期納付勧奨の実施②滞納繰越分の圧縮。財産調査の強化、財産調査を給与、預貯金、不動産、軍用地料、不動産収入、生命保険等まで実施していく。タイヤロックス、ミラーズロックの実施③納税環境の整備。口座振替の促進④納税係の業務体制の見直し。納税係の業務分担を見直すとともに研修等で職員の専門知識並び

問 包括連携協定の内容について伺う。

答 琉球大学と読谷村が相互に密接な連携協定を図り地域社会の発展と人材育成学術振興に寄与することを目的に協定書を締結した。

(一)地域づくり・まちづくりの推進(二)農業・漁業・観光業及び産業の振興(三)環境の保全及び防災対策の推進(四)保健・医療・福祉の向上(五)教育・学術・文化の振興(六)ボランティア活動プログラムの実施(七)その他、協議の上で連携・協力することが必要と認められる事項

包括連携協定につ

いて

に徴収技術の向上を図る。

問 二十五年度の政務活動費を活用して埼玉県狭山市で研修を実施した。狭山元気大学の目的は(一)これからの地域社会を行政と協議して担っていく人材の育成(二)人材育成による学びの成果を地域社会の中で生かす仕組みづくりである。施策の一つとして元気大学の修了生が地域課題等の解決に向けて主体的にコミュニケーションビジネスや、ボランティア活動を立ち上げるにあたり、これを支援する事業を実施している。狭山市の事例を参考にし事業の導入は可能か。

答 私たちが当初から目指してきた人材の育成、そして地域に還元するという点では全く同じような印象を受けた。NPOを含めた形の講座については、模索はしている状況にあり、可能性としてはございます。提案があった件も内部で議論をし、どこまでできるかというのを検討していきたいと思う。



伊佐 真武

一、渡具知区への

リゾートホテル計

画に関連して

問 この間の社会情勢の変化と、本村の十年毎の土地利用計画が来年見直し時期に当たると、渡具知海岸沿

い一帯を観光リゾート地区として位置づける時期に来ていると思ひますが見解を伺います。

答 社会情勢の変化ということでの第二次国土利用計画の改定時期を迎えるというところで、その面でのことだと思ひますが、沖縄県は観光客一千万人を目指して第二滑走路も着工の予定がきております。その意味では県全体で、もっと観光客が増える様な状況にきているかと思ひております。

まして、これまで幾度となく色んな議論が行われておりますけれども、総合的にそういったことも踏まえて検討をしていきたいと思ひつています。

二、ニライ消防と

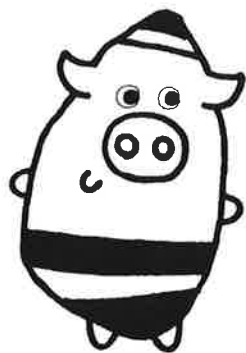
村役場との連携に

ついて

問 ①村内の消火栓の設置状況はどうか。

②身体障がい者や一人暮らし老人等への対策は。

答 ①現在三三三基の設置数住宅地に関しては十分な配置状況があるとの消防の意見②六五歳以上の独居高齢者世帯、高齢者のみの世帯及びそれに準ずる世帯、障がい者のみの世帯を対象に救急医療情報キットをお配りしてあります。これは医療情報を専用の容器に入れ自宅に保管しておく事で、万が一の時、救急隊員の迅速な救命措置に活用するものです。



プロフィール

- 身長/約180センチ
- 体重/ひみつ
- 性別/男の子?
- 趣味/食べ歩き、アート、お祭り
- 特技/カチャーシー

ヨミタン大学につ

いて

御指摘の渡具知海岸につき



三、交通渋滞軽減

のためソフト面か

らの対策

問 交通渋滞主要箇所に動力カメラを設置し、FMよみたんからリアルタイムに交通情報を発信しては。

答 交通渋滞緩和の施策として、道路構造上だけでなく、ソフト面から対応する手法もあることから、御提案として受けとめます。

っているのか。

答 ①村民からの設置要望箇所及び供用開始された村道等を含め、優先順位をつけ、整備していきたい。

②村道伊良皆南線には現在二基の防犯灯が設置されておりませんが、不十分だと認識しております。その路線は村道の防犯灯整備計画で整備予定に入っておりますので、これから具体的な時期等を検討してまいります。

四、村道伊良皆南

線への防犯灯設置

について

問 ①今後の村内生活道路も含めた防犯灯の設置計画はどうなっているか。

②村道伊良皆南線は、古堅中学校、読谷高校への通学路でもある。供用開始から四年も経過しているが今後の防犯灯設置計画はどのような



當間 良史

『逆走車両の根絶を』

問 座喜味城跡前の一方通行道路にて、道路を逆走する車両が多く見られるが、行政は、事態を把握しているか。

答 平成十七年に一方通行になって八年以上が経過しているが、当初から逆走車両があると聞いている。現場に行き道路標示（横断歩道）が消えているのも確認している。

問 逆走車両の殆どが、観光客であるので案内板等を作成しレンタカーを利用される県外や海外の観光客に対し注意を呼び掛けては。

答 新しい駐車場を造る際、一方通行あるいは進入禁止

とわかる表示をしていく予定です。案内板については関係課で協議し対応を検討してみたい。

『座喜味城跡沿道の植栽について』

問 沿道の植栽が枯れてしまっているが本村の対応は。

答 現在植えられている「久米紅椿」は管理が難しいといわれているようなので、座喜味区民の皆さんが、きれいに管理して頂いているので、できる限り協力していきたい。

『スケートパークの建設を！』

問 近年は多種多様なスポーツが盛んになっていますが、子供たちが安心して遊べる環境が少ない、本村にも子供たちが安全に遊べるような屋外スポーツ施設（スケ

ートパーク）を設置しては。

答 現在のところ新たな施設を設置する計画は無いが、残波公園内のローラースケート場を活用させていきたいと考えています。

要望 本村にも、プロをはじめ多くのスケーターが活躍しています。彼らの更なる活躍の場と後継者育成の為、安心して安全なむらづくりを！



子ども達が集う、うるま市のスケートパーク

『サンセットクルージングを楽しもう！』

問 読谷村漁業協同組合が取り組んでいる、定置網漁船を利用した「サンセットクルージング」の利用状況は。

答 定置網漁船を使って大型観光定置網体験とサンセットクルージングの二つの事業が行われています。平成二十五年四月から平成二十六年二月までの利用客数は、観光定置網体験が九六〇名、サンセットクルージングは二十名となっている。

要望 西海岸のリゾート地読谷村のサンセットは十分な観光資源である。もっと十分なアピールを！



城間 勇

一 第四十回読谷まつりについて

問 開催時期を一週間早く開催する理由。

答 過去十五年間の天候を調べ十一月第一土日と十月最終土日と比べた結果、晴れの日の確立が高いことが理由。

二 枯葉剤の調査について

問 猛毒ダイオキシン類を高濃度で含む枯葉剤が一九六八年ごろに読谷村にあった軍用犬訓練場で、定期的な散布されていたと米国退役軍人が証言した事を受け読谷村は沖縄防衛局に対し、事実関係や現地の環境を調査するよう文書で要請して

おります。

答 米国防省が発表した沖縄県における枯葉剤の主張に関する調査から、沖縄において枯葉剤が荷揚げ、保管使用もしくは埋設された、または沖縄もしくは沖縄経路で運搬されたことを裏付ける記録は確認出来なかったと記載されており、引き続き本省関係省庁と連携を図っていくとの回答。

三 国道五十八号沿いに交番の設置について

問 沖縄県警察本部に問い合わせたところ、現段階では新規の交番設置は検討しておりませんとの事。今後要請してまいります。

答 沖縄県警察本部に問い合わせたところ、現段階では新規の交番設置は検討しておりませんとの事。今後要請してまいります。

四 トリイ通信施設のメインゲート

問 沖縄防衛局は楚辺、大木、渡具知の三区長への説明会を開き、現在県道六号線沿いにあるメインゲートを大木の国道五十八号バイパス沿いに移設する計画を伝えております。移設の理由、移設に伴うトリイ基地内耕作面積は、どの程度減らされるのか。

答 県道六号線から国道五十八号バイパスへ移設することにより、県道の交通渋滞緩和、地域の交通安全等に寄与するためである。メインゲートの移設により影響を受ける耕作面積は、既存道路への接続道も含めて約5haである。



トリイメインゲートの移設建設計画がされている大木ゲート

五 マックスバリ

ユ古堅店の後ろ、古堅七六四番地から古堅七三五番地間の道路及び排水路の整備のめどは

路の整備のめどは

問 平成二十二年度に概略設計を終えております。これから整備の進め方等について地元や関係地権者等との合意形成が必要。

答 平成二十二年度に概略設計を終えております。これから整備の進め方等について地元や関係地権者等との合意形成が必要。



山城 正輝

問 ダイオキシンをどう認識し、調査はどうなっているか。

答 発ガン物質、猛毒、ベトナムでも使用され、非常に懸念されている。日米とも使用実績、文書なしとしている。

問 カジノについて村長はどう考えているのか。

答 県民のコンセンサスを得ていず、観光地イメージ低下にもつながる。

問 「改革」によって村の教育はどうなっていくか。

答 本村の基本理念に沿った事務を進める。制度の基本は、守られるべき。

問 「改革」によって村の教育はどうなっていくか。

答 本村の基本理念に沿った事務を進める。制度の基本は、守られるべき。

問 「改革」によって村の教育はどうなっていくか。

答 本村の基本理念に沿った事務を進める。制度の基本は、守られるべき。

問 猛毒ダイオキシン、枯れ葉剤が散布されていた可能性について調査抗議すべきか。課長「立ち入り調査を考える」

世界遺産座喜味城跡地域の景観を高めるために座喜味ダツチン川周

辺の補修、自然保護を
実施すべき↓課長「可
能性含め検討」

問 座喜味内県道十二号線
信号機南側のこの地域は、
集落内河川と共に共同井戸跡
裸世ガマ、石積橋等が残っ
ており、貴重な動植物も存
在しているといわれる景勝
地である。村の認識と対策
はどうか。

答 集落に近い自然の残さ
れた地域で、北地区計画で
保全予定されている。村道
親志波平線の流末とも並行
して検討する。



世界遺産座喜味城跡の景観 ダッチンガー

同じく世界遺産地域
の景観向上のために
長浜ダム上流サガリ
花広場周辺の定期清
掃を拡大すべき
課長「地元関係団体
と協議検討」

問 この地域も河川と共に
古墓、共同井戸跡、棚田跡、
サガリ花があり、カワセミ、
青ハトなどの棲息地でもある。
村は、どう認識し、対策を
どう考えているか。

答 県が平成八年から十三
年にかけて整備した地域。
座喜味子ども育成会、走ろ
う会を中心に年一回草刈り
作業を入れている。

座喜味地内県道十二
号線にかかるナーカ
ヌカーなど道路橋の
抜本的補修を県に要
請すべき↓課長「経
過観測し、補修工事
で対策」

同じく県道十二号内
座喜味信号機近くの
路面亀裂を抜本対策
すべき↓課長「優先
順位で対応」



津波古菊江

問一 災害に強い 村づくり

問 防災拠点施設の耐震化
や非常時災害用生活物資の
備蓄状況はどうなっているか。
また、自主防災組織の結成
地域は何ヶ所で活動状況は。
助成額はいくらで、防災訓
練は、どのように指導され
たか。村全体で防災の日を
設定しては。

答 耐震基準を満たしてい
ない施設は総合福祉センタ
ーと読谷村体育センター、(対
応していく) 備蓄品は乾パン、
α米、水、毛布、担架、リ
ヤカー等で人口の1/20の
三分の一八〇〇〇食を村内
のスーパー等との協定で確
保していきたい。

資機材はヘルメット、ラジオ、
簡易トイレ、大人・幼児用

オムツ、生理用品、電気コ
ードリール、燃料タンク、
ドノー、軍手、つるはし、
シヨベル等保管あり。防災
組織は五ヶ所(都屋、楚辺、
渡具知、大浜、長浜)

訓練内容は避難訓練、消防
訓練、給食、給水、情報伝
達訓練を行う。

助成額は一世帯当り三百円で、
均等割で十万円を加えた額、
資機材は一世帯当り五百円
です。均等割二十万円で限
度額六十万円、五年後に改
めて申請して購入額の1/2
で二十万円を限度に助成する。
ハザードマップは平成二十
六年度に全番帯へ配布される。
読谷中学校南側へ防災広場
を計画していく予定。
防災の日設定は必要と感じ
ているが内陸側の自主防災
会設立後に実施したい。

問二 わんぱく広場 拡充について

問 古堅南小学校区に待望
の児童館が設立予定され、

放課後の子供達の安全安心
な居場所が確保され、子育
て世代や共働き世帯への親
支援としての評価も高いが、
児童館に代わる家庭教育支
援事業の四小学校区での開
催回数増について伺う

問三 都市公園安
全安心整備事業で
整備された大湾公園
古堅第二公園内に
幼児用すべり台を
設置できないか伺う

答 公民館と調整をして継
続していく。

答 現在設置されている遊
具は、対象年齢が三歳から
十二歳対象のもので、すべ
り台には踊り場がなく幼児
には危ないとの指摘があり
ました。幼児用については
設置していくよう努めます。



幼児でも安心して利用できる
すべり台設置の要望が村民からあります



國吉 雅和

一、平和の危機に対する所見

答 村長 集团的自衛権行使に向けた憲法解釈の見直しや、特定秘密保護法の成立等、安倍内閣の動きは戦前回帰への危険な動きであり、大変危惧しています。本村では、平和憲法の理念を遵守し、村民主体の自治の確立と人間尊重の村政を推進してまいります。

問 類似市町村との比較
答 被保険者一人当たり財政繰入額 豊見城市四、四五八円・読谷村二〇、〇〇〇円・県内平均約一三、二五四円保

問 医師二人制を含め診療所のあり方
答 無医村の中から診療所を立ち上げて医療サービスをやっていく中で、村内に八つのクリニックができて

問 税と社会保障の一体改革での消費税増税が四月一日から始まるが、今回の増税は本村の事業対策にどのよう

三、国民健康保険税

答 国保会計へ毎年三億円繰り入れるが平成二十九年

千件で平成二十四年一万八千件と徐々に減少

六、ソフトボール専用球場設置
答 体育施設の整備基本計画策定の中で検討していきたい。



北谷町のソフトボール専用球場

問 改正後保険税負担額は

注 定例会初日の三月四日議案上程の時担当部長が診療所休診について、村民への謝罪がありました。

七、第五十五回九州地区民俗芸能大会
答 民俗芸能を広く公開し、保存と振興を図る目的で昭和三十四年より各県輪番で開催し、十一月二十三日は

一、村長二期目を無投票で信任されたことは、四年間の実績が評価された結果です

問 二期目のスタートの村政運営に向けて決意を伺う。

問 税と社会保障の一体改革での消費税増税が四月一日から始まるが、今回の増税は本村の事業対策にどのよう

問 平和行政の取り組みは

答 村長 五月二十二日に国際的視野を持った、孫崎亨（元外務省国際情報局長）先生の講演会を企画します。

答 約一五、〇〇〇人の国保加入者の中で軽減措置は

答 民俗芸能を広く公開し、保存と振興を図る目的で昭和三十四年より各県輪番で開催し、十一月二十三日は

二、身の丈に合った社会資本整備

答 村長 幅広い視野と限られた人材・財政の中で着実・堅実な行政運営を心がける。

答 約六割以上（九、〇〇〇人）の方々が低所得者に対する軽減措置を受けている。

答 これまで自治会加入者と未加入者で異なる行政サービスの提供を統一することにより、公平な提供ができる。新たな施策として、行政区内で防災活動や公民館等を活用した「ゆいま

答 日本一の村をアピールするために、村独自の取り組みを提案する。

四、村診療所

答 四月から西川徹医師が常勤で、二人目の非常勤医師も確認済みです。外来患者数は、平成十六年三万四

答 四月から西川徹医師が常勤で、二人目の非常勤医師も確認済みです。外来患者数は、平成十六年三万四

答 民俗芸能を広く公開し、保存と振興を図る目的で昭和三十四年より各県輪番で開催し、十一月二十三日は

答 民俗芸能祭開催年であり、九州大会のプレイベントとして抱き込む形で開催を考えている。



知花 徳栄

二、福祉行政について

問 税と社会保障の一体改革での消費税増税が四月一日から始まるが、今回の増税は本村の事業対策にどのよう

答 少子高齢化に伴い年金や医療、介護等の費用が急速に増加、国の歳入の約半分が借金、社会保障を充実安定化させ、同時に将来世代への負担の先送りを減らして行くとの事。5%の引き上げで十四、一兆円の財源が確保される。社会保障四経費の中、実際の社会保障充実費は約20%で、殆どが後代への負担の先送り軽減としている。子供、子育てについては平成二十七年以降の支援新制度で二十九年末までで期待児童解消を目指す。医療介護は病床の役割の分化、連携強化、在宅医療の推進を二十六年から実施、地域包括ケアシステム構築の推進二十



除草により見通しが良くなっている

七年度実地、年金制度の充実は遺族年金の支給対象を父子家庭へ拡大二十六年度施行、低所得者の老齢、障害、遺族基礎年金の受給者に給付金を支給二十七年年度予定等という対応になる。

問 県は「長寿復活健康づくり事業」を平成二十六年年度予算に盛り込んでいますが、その内容と本村としてどのような取り組みがされるか。

答 事業内容は県民健康づくり事業の推進(広報活動)小中学生の健康教育(副読本の作成)各種がん検診の受診勧奨(広報活動)のよう、市町村との関わりについては現時点では何も決まっていなとことです。

三、村道残波線の除草対策について

問 特にすずきが伸び放題で見通しも悪く危険な状態、ホテルやゴルフ場の商業施設があり観光面からも見苦しい

答 村道の維持管理は、地域への委託、業務受注業者で対応しております。

※早目の対応により、車輛の見通しも良くなり、松並木も美しく、すばらしい景観になっております。今後とも村道の維持管理に頑張つて頂きたい。



山内 政徳

一、読谷村診療所のこれからの運営について長期的に考えあれば伺いたい

答 今までの診療所とは別の形の新たな公的医療機関として、大きな機関と連携をする模索も含め少し専門家の意見も聞きながら現状も踏まえ対処できればいいなと思っております。



二、先月政務活動費を活用して、宮城県利府町へ視察研修に行きました。そこで実施されていた事業では、出生届出時に「子育てクーポン」をプレゼントし、子供を保育所で一時的に預かる事業を実施しております。読谷村でもこのような子育て応援事業を実施してはどうか

答 本村での「子育てクーポン」交付については現在実施の考えはありません。子育て支援策の提言として受け止めていただきたいと思います。

三、村立保育所三ヶ所を一ヶ所へ集約し、残りの二保育所を民営化してはどうか

答 現時点での二保育所の民営化は検討できる状況にはないと考えています。ただし「読谷村の自律」にもありますように、北保育所の建替えの際は、民間活用は検討することになります。

四、本村の高齢者人口と在宅介護の現状について、また介護離職者の現状と対応について

答 高齢者人口七〇二七人高齢化率十七・二%となっております。おり介護保険サービスを利用した総件数は二五八七〇件、訪問サービス三六〇五件、通所サービスが八三二六件、短期入所サービスが四三〇件、福祉用具、住宅改修が四五六六件、特定施設入居者生

活介護六十六件、介護予防支援・居宅介護支援八八七七件となっております。在宅で家族の介護をするために、仕事を辞めざるを得ない状況になった、介護離職者の現状につきましては、把握することはできません。

五、読谷村と嘉手納町の住民の安全のために、嘉手納警察署が嘉手納町内にありますが、読谷村も人口四万人を超えました。そこで嘉手納警察署を読谷村に移設の要請をしては

答 沖縄県警察本部に問い合わせたところ、嘉手納警察署の建て替えにつきましては向う十年は予定がないとの事でした。また読谷村への移転の可能性につきましては、建て替えの計画が出た際に、検討、協議していく事になるとの事でした。



比嘉 郁也

仮称「児童生徒育英資金」の創設を

英資金」の創設を

問一 「平成二十五年度現在育英資金残高は

答 教育総務課長 山内猛

平成二十六年三月十二日現在の残高は八四五四万五二六二円です。

問二 平成二十五年度の現在貸付実績（件数と額）

答 五十五件で二二七四万円

問三 平成二十三年三月議会で「地域の子が世界へはばたく夢みる基金」の創設を提案しましたが検討したか

答 現在、育英資金の貸与償還に関する新たな手法を検討しておりますが、御提案を受けました基金の創設ができるか、総合的に検討していきたいと考えます。

問四 教育長当局の所見を伺います。

答 読谷村の子供達がよりよい環境で学び、それが輝く未来につながるようには努力する義務があると思います。現在、スポーツ振興基金、文化振興基金等がありますので資金運用状況も考慮する中で検討します。

再質問 課長答弁では午後の時間を活用して児童生徒へ補習支援を行っております

との事ですが、その支援に新たな施策はありませんか

答 教育長 松田平次

退職教職員の先生たちが放課後の学習支援をしたり短歌会の皆さんが短歌の出前授業でボランティアで支援されています。子供たちの教育を盛り上げる意味で村民総ぐるみでいろいろ工夫する必要があると思つて。

再々質問 大学生の有償ボランティアでの活用は

答 琉球大学との包括連携協定もできましたし、シルバー人材の知識財産も模索する必要があると思つて。

診療所を民営化すべきでは

問一 建築年数と課題は

答 昭和五十三年に完成し三十六年が経過して新耐震基準に適合しておらず、不適合建物といえ、改築の財源確保が課題になると考えます。

問二 改築の予算と医療設備の予想額は

答 今後の事業内容、事業規模が決定されないと必要経費は積算できませんので現時点では把握できません。

問三 医師二名の安定確保は極めて困難ではないか。

答 御指摘のとおりかなり困難であります。

再質問 有識者の皆さんに

諮問もして、存廃の判断する時期に来ているのでは

答 村長 石嶺傳實

医師と職員の皆さんの努力により今日まで運営され公的医療機関としての信頼もあると思つて。これから、



いろんな機関とも意見交換を新年度早速やります。

診療所の民営化を考えよう！

公共施設内飲料自販機のイメージカラー化にしては

販機のイメージカラー化にしては

イメージカラーについては

答 現在思案中であり、イメージカラーについては次年度議論してまいります。

古堅中学校の生徒会・学級会長が読谷村議会を傍聴しました！

はじめて行った村議会

僕は、はじめて行った村議会です。「とても静かだな」ということです。村議会に行く前までの自分のイメージとしては、国会のように議員さんたちがざわざわ騒いでいて、けんかしているのかなと思っただけ、意外と静かで、話し合いもテンポよく進んでいたのでもって驚きました。また議員さんの仕事はなにをするのかなと思ったり、あまり仕事をしていなさそうなイメージがあったけど、色んな事を知っていて、地域の人をとっても思っていて、いろいろ意見を述べていて格好いいなと思つてました。驚きの連続で、また話し合いを聞きに行きたいなと思つてました。

感想

僕は、今回の体験を通して、どれだけ議会が大切かということを知りました。読谷村の事を知りたくて興味のある方は、是非読谷村議会に足を運んでみて下さい。



古堅中学校の生徒が作った新聞

読谷村議会来訪者

年月日	視 察 内 容
平成 25 年 4 月 11 日 (木)	富山県小矢部市議会 議員 6 名、随 行 1 名 ・ 村民の意見聴取と村政への反映について (請願及び陳情等の取り扱いも含めて) ・ 議会改革の取組み状況について
5 月 13 日 (月)	沖縄市議会 議員 1 名 (北谷町議会議員 1 名も参加) ・ 特別支援学校に通う児童の登下校時送迎事業について ・ コーヒーシャープ事業について
6 月 27 日 (木)	福井県大野市議会 議員 2 名 ・ 村づくりの目標について ・ 今後の両市村の交流の在り方について ・ 座喜味城跡等視察
10 月 23 日 (水)	宮城県気仙沼市議会 議員 7 名 ・ 議会基本条例の制定について ・ 意見交換会及び議会報告会について
10 月 28 日 (月)	宮城県仙南地区町村議会議長会 議長 7 名、随 行 1 名 ・ 議会運営の状況について ・ 議会運営委員会の審議・決定すべき事項について ・ 常任委員会の活動状況について ・ 広報編集の実状について
11 月 6 日 (水)	静岡県町村議会議長会 議長 12 名、随 行 2 名 ・ 読谷村議会の概要について ・ 議会基本条例など、議会活性化への取組みについて ・ 先進農業集団地区整備事業について
平成 26 年 1 月 16 日 (木)	宮城県加美町議会 議員 8 名、随 行 1 名 ・ 健康づくり応援支援事業について ・ 健康増進センターの利用について
1 月 22 日 (水)	神奈川県綾瀬市議会 議員 8 名 ・ 読谷飛行場の跡地利用について
1 月 28 日 (火)	鳥取県米子市議会 議員 7 名 ・ 読谷村産業廃棄物処理施設の設置等の紛争予防に関する条例及び施行規則について
2 月 10 日 (月)	愛知県蟹江町議会 議員 3 名 ・ 読谷村民家体感学習泊について
2 月 13 日 (木)	静岡県裾野市議会 議員 4 名 ・ ノーベル平和賞を夢みる村民基金収益事業について ・ 読谷村字別構想推進事業について

ボランティア広場

読谷村学校支援地域本部事業

本事業の目的は、まず学校現場での学校教育活動が、地域の人材を活用することで円滑に図られることです。この目的を達成することで、地域の教育力の活性化と地域力の向上が図られます。また、地域の方々の特技や経験、社会教育として学んだ成果を生かすことで、ボランティアとして携わる方々の生き甲斐作りにもつながります。本事業は、支援される学校側と支援する地域のボランティア双方に魅力あるものとなっております。

昨年度実績としては、小・中学校に合計して58回、延べ249名のボランティアさんが本事業に携わりました。具体的な内容は、学習支援活動（国語・算数・社会・体育・家庭技術・総合学習等）、環境整備支援（花壇整備等）、総合学習支援（平和学習・戦争体験者の講話）等がありますが、基本的には学校現場のニーズに合わせた支援内容となっております。特色ある内容としては、読谷中学にて座喜味区民によるエイサー指導、喜名小学校にて地豆腐づくり指導、肢体に不自由のある児童への水泳補助支援等があります。

また、このような学校側のニーズは、直接行政へ学校側から挙げられるのではなく、読中校区・古中校区に1名ずつ配置された学校支援コーディネーターが、足繁く学校現場を回り、先生方と日ごろからコミュニケーションを図ることでニーズを確認します。地域の人材をよく把握しているコーディネーターが、学校のニーズに応じた人材を的確にまた迅速にコーディネートすることで学校現場での児童生徒や教師の皆様の満足度は高いものと感じております。



○丸付けボランティアの様子



○新春書初めボランティアの様子

傍聴へ行こう！

平成26年6月定例議会は6月10日(火)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225